

事業番号	39	事業の名称	施設の利用予約及びその管理業務	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 市民の福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。 (概要) 福祉の家で実施している、住民を対象としたサービス業務(貸室、福祉浴室・歩行浴室、窓口での受付案内等)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	施設の運営管理業務は、全国の公共施設において一般的に行われている。

事業期間	事業開始年度	平成14年度	終了(予定)年度	-								
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民	総事業費			総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。				うち	一般財源	0	0	0	0	0	0
					国費・県費	0	0	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	0	0			
			受益者負担額	4107	3957	3910	3758	3957				

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H24予算	H24決算		H25予算	
① 貸室(工房1)	市民	貸室を利用してもらうことで	福祉の向上を図る	延利用者 1,424人	開館日に対する 利用日数の割合	45.3	%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0		D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率低下が見られるため、向上のための取組を行う。
						40.5			0	0		向上	
						45.0			0			維持	
② 貸室(工房2)	市民	貸室を利用してもらうことで	福祉の向上を図る	延利用者 204人	開館日に対する 利用日数の割合	7.8	%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0		D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。
						12.7			0	0		向上	
						10.0			0			維持	
③ 貸室(和室)	市民	貸室を利用してもらうことで	福祉の向上を図る	延利用者 62人	開館日に対する 利用日数の割合	2.9	%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0		E	平成25年度から、貸室を廃止して「障がい者相談支援センター」として使用予定。
						2.0			0	0		-	
						10.0			0			-	
④ 貸室(ITルーム)	市民	貸室を利用してもらうことで	福祉の向上を図る	延利用者 675人	開館日に対する 利用日数の割合	5.5	%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0		D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。
						15.4			0	0		向上	
						15.0			0			維持	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	① 貸室(工房1)	市民や市内のボランティア団体に対して、生涯学習講座や広報を通じてPR活動を行う。温泉交流施設運営計画策定業務の報告資料を元に、活用方法の検討を行う。		
② 貸室(工房2)	市民や市内のボランティア団体に対して、生涯学習講座や広報を通じてPR活動を行う。温泉交流施設運営計画策定業務の報告資料を元に、活用方法の検討を行う。			
④ 貸室(ITルーム)	市民や市内のボランティア団体に対して、生涯学習講座や広報を通じてPR活動を行う。温泉交流施設運営計画策定業務の報告資料を元に、活用方法の検討を行う。			

事業番号	39	事業の名称	施設の利用予約及びその管理業務	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 市民の福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。 (概要) 福祉の家で実施している、住民を対象としたサービス業務(貸室、福祉浴室・歩行浴室、窓口での受付案内等)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	施設の運営管理業務は、全国の公共施設において一般的に行われている。

事業期間	事業開始年度	平成14年度	終了(予定)年度	-
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民			
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。			

総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
	うち	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
	国費・県費	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
受益者負担額	4107	3957	3910	3758	3957	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H23実績	H24実績	H24目標値	H23予算	H24予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~															
⑤ 会議室	市民	[進捗状況]				福祉の向上を図る	延利用者 3,165人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	52.8	62.7	55.0	0	0	0	0	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。	
		貸室を利用してもらうことで																		
		向上	維持																	
⑥ 集会室	市民	[進捗状況]				福祉の向上を図る	延利用者 14,369人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	84.4	87.3	85.0	0	0	0	0	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率を維持するための取組を継続する。	
		貸室を利用してもらうことで																		
		維持	維持																	
⑦ 機能回復訓練室	市民	[進捗状況]				福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る	延利用者 6,161人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	71.3	81.4	75.0	0	0	0	0	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。	
		貸室を利用してもらうことで																		
		維持	維持																	
⑧ 歩行浴室	市民	[進捗状況]				福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る	延利用者 10,282人	年間の延利用者 数	人	開館以来の延利用者 数推移を参考として	9,982	10,282	11,124	0	0	0	0	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。	
		歩行浴室を利用してもらうことで																		
		向上	維持																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	⑤ 会議室	市民や市内のボランティア団体に対して、生涯学習講座や広報を通じてPR活動を行う。温泉交流施設運営計画策定業務の報告資料を元に、活用方法の検討を行う。			
⑥ 集会室	市民や市内のボランティア団体に対して、生涯学習講座や広報を通じてPR活動を行う。温泉交流施設運営計画策定業務の報告資料を元に、活用方法の検討を行う。				
⑦ 機能回復訓練室	市民や市内のボランティア団体に対して、生涯学習講座や広報を通じてPR活動を行う。温泉交流施設運営計画策定業務の報告資料を元に、活用方法の検討を行う。				
⑧ 歩行浴室	市民に対して、介護予防教室や広報を通じてPR活動を行う。				

事業番号	39	事業の名称	施設の利用予約及びその管理業務	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	(目的) 市民の福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。 (概要) 福祉の家で実施している、住民を対象としたサービス業務(貸室、福祉浴室・歩行浴室、窓口での受付案内等)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	施設の運営管理業務は、全国の公共施設において一般的に行われている。

事業期間	事業開始年度	平成14年度	終了(予定)年度	-			
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。						
総事業費							
		総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
		うち	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
		国費・県費	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		受益者負担額	4107	3957	3910	3758	3957

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H23実績 H24実績 H24目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算 H24予算 H25予算	H23決算 H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~										
⑨ 福祉浴室	市民	[Progress bar: 4/4 filled]				延利用者 7,269人	年間の延利用者 数	人	開館以来の延利用者 数推移を参考として	0	0		D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。H24から福祉浴優待事業の対象が歩行浴にも拡大したため、福祉浴室の利用人数が減少した。H23は収容人数の限界を超えていたため、現状維持の取組を行う。	
⑩		[Progress bar: 0/4 empty]													
⑪		[Progress bar: 0/4 empty]													
⑫		[Progress bar: 0/4 empty]													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	⑨ 福祉浴室	市民に対して、介護予防教室や広報を通じてPR活動を行う。		

H25以降新規に実施する事務事業